

道 標

市川三中進路だより
第2号
令和7年5月15日

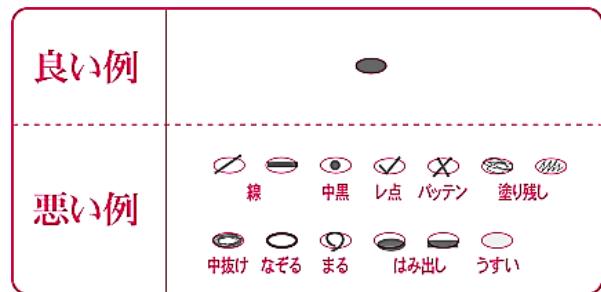
○第1回到達度テスト

GWが明け、体育祭の練習が始まりました。各教科では課題も出され、毎日学習に取り組んでいることと思います。さて、明日、到達度テストが行われます。現時点での実力を見極め、また三者面談の資料ともなりますので、今の実力を発揮できるよう、本気で取り組んでください。

○マークシートについて

到達度テストは、マークシートと記述の併用式を取り入れます。マークシートに記載する際の良い例と、悪い例を載せておきます。明日の到達度テストでは、しっかりと濃く塗りつぶし、また、間違えたら丁寧に消すなど、正しく読み取ってもらえないで点数を落とすことを防ぎましょう。

BやHB以上の濃い筆記用具を使用してください。



○自己採点の仕方

6時間目に、自己採点の時間を設定します。入試の本番は後日、各教科の点数を開示することができますが、解答用紙は返却されません。自分がどこを間違えたのか、どこを正解したのかを知ることができないので、今回の到達度テストを含め、今後の様々なテストの際に、

問題用紙に自分の解答用紙に書いた答えを書いておきましょう！

これをやっておかないと、6時間目に自己採点をすることができなくなります。

到達度テストでは、解答用紙は試験終了時に回収しますが、問題用紙は6時間目に回収します。模範解答を見て自己採点を行います。試験中、問題用紙に自分の解答用紙に書いた答えを書き留めて、自己採点を行えるようにしましょう。

ただし、基本は解答用紙を正しく埋めることが優先です。問題用紙に解答を写していたから、最後まで答えられませんでした、見直しができませんでしたなどということが無いようにしましょう。そのためにも、記述や作文の問題は自分が書いたことのポイントを抑える程度でも構いません。

☆自己採点の注意

- 記述や作文の問題は模範解答を見て、条件や解答の趣旨を自分で考え採点しましょう。部分点もありますが、あまり甘く点数を付けすぎると、自己採点の意味が無くなってしまいます。自己採点は、実際の点数に近ければ近いほどいいものです。
- 自己採点と同時に、自己分析も行います。自分がどこで間違えたのか、どこを理解していなかったのかなど、テストの振り返りを通して、各教科の弱点をしっかりと分析しましょう。